



## 夫婦善哉1955年



夫婦善哉1955年／東宝／120分／白黒  
監督：豊田四郎／原作：織田作之助／脚本：八住利雄／撮影：三浦光雄／美術：伊藤薫朔／音楽：團伊玖磨 ◎出演：森繁久弥、淡島千景、司葉子、浪花千栄子、小堀誠、田中春男、志賀迺家弁慶、田村泰太、三好栄子、山茶花実、沢村宗之助

織田作之助の代表作を文芸映画の名匠・豊田四郎が監督、原作も名作なら映画も日本映画史に残る傑作となった。船場育ちのボンボンと新地の売れっ子芸者、ダメ男としっかり女の哀歓を、おかしさと切なさを交えながら、市井の男女の一典型として見事にスクリーンに描き出した。戦前の法善寺界隈を再現した見事なセット、森繁久弥と淡島千景の名演。何度見ても素晴らしい大作！

## 船場の娘より 忘れじの人 1955年



船場の娘より 忘れじの人1955年／東宝／105分／白黒

監督：杉江敏男／原作：織田作之助／脚本：若尾徳平／撮影：完倉泰一／美術：小島基司／音楽：團伊玖磨 ◎出演：岸恵子、安西郷子、山内明、花井蘭子、浪花千栄子、御橋公、平井岐代子、見明凡太郎、有田稔、加藤春哉

戦後一躍流行作家となった織田作之助の「船場の娘」の映画化。道頓堀、中座、太左衛門橋、三味線芸者など、オダサク好みをふんだんに盛り込みながら、船場の大問屋のとう(お嬢)さんの悲恋を描く。ラジオドラマ化された時は溝口健二が演出している。岸恵子がヒロインに扮して、18歳から46歳までの女の愛転を名演

## わが町 1956年



わが町1956年／日活／98分／白黒  
監督：川島雄三／原作：織田作之助／脚本：八住利雄／撮影：高村倉太郎／美術：中村公彦／音楽：真鍋理一郎 ◎出演：辰巳柳太郎、南田洋子、高友子、大坂志郎、三橋達也、殿山泰司、小沢昭一、北林谷栄、峰三平、鈴木益代

フィリピンでベンゲットで死者700人という困難な道路建設に従事した男(ターヤン)が帰郷すると、我が子が誕生していた。天王寺を舞台に、人力車を引いて娘と孫娘を育てあげると根性物語を、明治・大正・昭和にわたって描く年代記。敬愛する織田作原作を、川島が描いた名作にして、大阪ものの代表作。

## 輪島昭子さん

[http://shisly.cocolog-nifty.com/blog/2008/06/post\\_a74b.html](http://shisly.cocolog-nifty.com/blog/2008/06/post_a74b.html)



端役の女優であった輪島昭子(芸名、築地燦子)は、井上演劇道場の「わが町」の中で四人姉妹の末妹の役をもらった。この上演の稽古を立ち会うために上京した織田作之助(1913-1947)と初めて出会ったのは、昭和18年のことだった。そのころ織田には宮田一枝という愛妻がいた。その一枝は昭和19年の夏に肺がんのため亡くなった。やがて昭子と織田は意気投合し同僚関係となる。織田の旅先の東京での臨終にいたのも昭子ただ一人だった。林芙美子が何かと昭子の世話をみてくれた。昭子は織田の弟子である石浜恒夫(1923-2004)と結婚し、一児の母となるが、のち離婚。輪島昭子のその後の消息は何も知らない。

ちなみに石浜恒夫は東洋史学者・石浜純太郎(1888-1968)の長男である。